

今さら聞きたい?!

大阪国際の ギモン 第3回



後藤里奈さん(2年生)



鈴木あかりさん(2年生)

大阪国際高校には併設の短期大学部・幼稚園と密接な連携を図って、将来の幼稚園教諭・保育士を目指す、幼児保育進学コースがあります。今回はこのコースに在籍する2年生の後藤里奈さんと鈴木あかりさんに幼児保育進学コースについていろいろ聞いてみました。

幼児保育進学コースって

何なの?どづなの?

Q 幼児保育進学コースってどんなコースですか?

後藤 他の高校にはない鍵盤奏法があったり、実際に保育所に行つて実習できたりします!

鈴木 総合探究コースと違って、幼児保育だけの授業に時間をしっかりと取ってもらえます。そこがとてもいいところです。

Q 幼児保育進学コースに入学しようと思ったきっかけは?

後藤 もともと幼稚園教諭になりたくて、進路をいろいろ調べていたんです。大阪国際高校は実習を経験できるからいいなあって。あと、共学っていうのも選んだポイントの一つです。

鈴木 私の場合、母が保育士で、その影響もあって私も保育士になりたかったんです。大阪国際は高校のうちから専門的なことが学べて経験が積めるから、もうここしかないな、と笑。中1からここを目指して勉強していました。

Q 幼児保育進学コースで特徴的で面白いと思う授業は?

後藤 週1で併設校の短大に行つて鍵盤奏法を習うんですが、個人レッスンが20分ほどあって、先生と1対1で教えてもらえるんです。

鈴木 制作の時間だと、何かを作る時に、クラスメートたちと協力しあって作るのが、楽しいです。自分ひとりじゃ考えつかないアイデアとかに感動したりして。毎日何かで新しい発見があります。



Q 幼児保育進学コースに進んで大変だったことは?

後藤 印象に残っているのは、初めて実習で園児たちと接した時です。園児たちがケンカを始めて、どうしたらいいんだろうって。私もパニックちゃって。実習は楽しかったけど、大変なこともたくさんありました。

鈴木 子供たちの対応って、教科書に書いてあって、知識として知っているだけじゃうまくいかないことも多いんです。実習で先生方がどう動いているのを見た時、直接教えてもらったり、やっていく中で学ぶことがいかに大切かって分かりましたね。

Q 将来はどんな先生になりたいですか?

後藤 指導とか教育するのも当然大事だけど、ただその中で園児たちが笑顔でいてくれる。その子どもたちと接している時に、自分が輝いている。そんな先生になりたいですね。

鈴木 ニュースを見ると、両親から愛情を充分にもらっていない子どもたちの話をよく聞きます。私はどんな家庭事情を持つ園児にも分け隔てなく、たくさん愛情を注げる先生になりたいです。

Q 最後に皆さんへメッセージを!

後藤 園児との関わり方や距離の掴み方とか、机上の勉強とは全然違う難しさがあるけど、満足感や達成感があるコースです。

鈴木 大阪国際の幼児保育進学コースは併設の幼稚園と幼児保育が学べる短期大学部があつて、高校にいなから短大で学んで、幼稚園で実習経験も積めます。なかなかこんな環境で学べるコースってないと思うので、将来幼保の先生を目指す人たちにぜひ知ってほしいコースですね!

